

メキシコ債券ファンド (資産成長型)

【愛称:ラ・バンバ】

【償還 運用報告書(全体版)】

(2022年3月1日から2023年2月27日まで)

第 10 期

償還日 2023年2月27日

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2013年3月8日から2023年2月27日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてメキシコの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 メキシコ・ボンド・ファンド (アキュムレーションクラス) メキシコの債券等 マネー・オープン・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■主として、メキシコの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ■原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ■実質的な運用は、現地の債券運用に強みを持つブラックロック・メキシコが行います。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■年1回(原則として毎年2月26日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。
(基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主としてメキシコの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行いました。ここに当期の運用状況等をご報告いたします。

皆さまのご愛顧ありがとうございました。

 三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間:午前9時~午後5時(土、日、祝・休日を除く)

メキシコ債券ファンド（資産成長型）【愛称：ラ・バンバ】

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	投資信託 証券組入 比率	純資産 総額
	(分配)	税込 分配金	期中 騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
6期(2019年2月26日)	8,605	0	3.0	0.3	94.0	913
7期(2020年2月26日)	9,786	0	13.7	0.4	95.0	860
8期(2021年2月26日)	9,200	0	△ 6.0	0.6	93.7	666
9期(2022年2月28日)	9,688	0	5.3	0.6	94.2	592
(償還日)	(償還価額)					
10期(2023年2月27日)	11,879.77	0	22.6	—	—	401

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

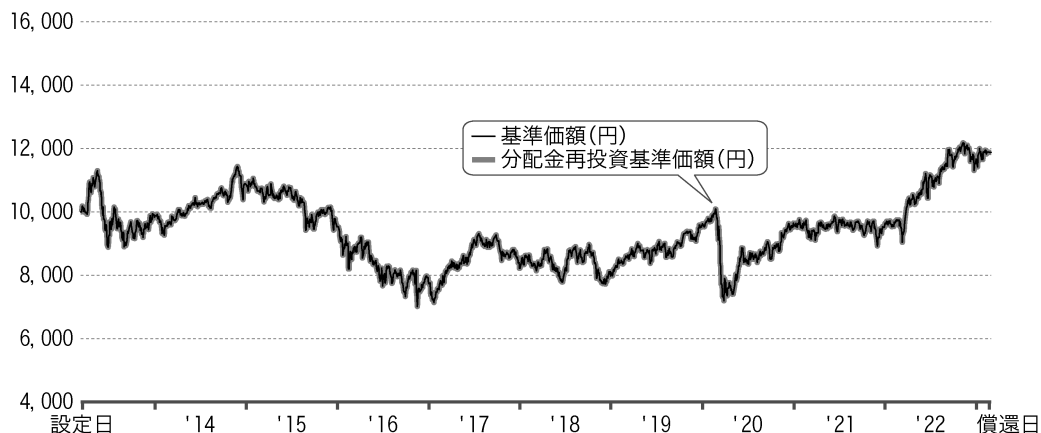
年月日	基準価額		公社債 組入比率	投資信託 証券組入 比率
		騰落率		
(期首)	円	%	%	%
2022年2月28日	9,688	—	0.6	94.2
3月末	10,356	6.9	0.6	94.8
4月末	10,271	6.0	0.7	90.2
5月末	10,941	12.9	0.7	90.7
6月末	11,115	14.7	0.7	90.3
7月末	11,108	14.7	0.8	94.8
8月末	11,440	18.1	0.8	94.0
9月末	11,568	19.4	0.8	95.0
10月末	12,037	24.2	0.8	94.8
11月末	11,957	23.4	0.8	94.2
12月末	11,644	20.2	0.8	90.7
2023年1月末	11,907	22.9	0.9	93.9
(償還日)	(償還価額)			
2023年2月27日	11,879.77	22.6	—	—

※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

設定以来の運用状況 (設定日 (2013年 3月 8日) から償還日 (2023年 2月 27日) まで)

設定以来の基準価額の推移



前期までの概略 (設定日 (2013年 3月 8日) から第9期末 (2022年 2月 28日) まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として、メキシコの債券等に投資しました。また、対円での為替ヘッジは行いませんでした。

上昇要因

- ・ 2018年12月から2021年 1月にかけて、新型コロナウイルスの影響による景気後退に対応してメキシコの中央銀行が利下げを行い、メキシコ債券市場が上昇したこと
- ・ 2020年 5月から2022年 2月にかけて、メキシコと日本の金利差拡大によりメキシコペソが対円で上昇したこと

下落要因

- ・ 2016年10月から2018年11月にかけてと、2021年 2月から2022年 2月にかけて、インフレ率上昇に対応してメキシコの中央銀行が利上げを行い、メキシコ債券市場が下落したこと
- ・ 2015年 7月から2016年 9月にかけて、中国の景気減速懸念や原油価格の下落から投資家のリスク回避姿勢が強まり、メキシコペソが対円で下落したこと

1 運用経過

基準価額等の推移について(2022年3月1日から2023年2月27日まで)

基準価額等の推移



期 首	9,688円
償 還 日	11,879円77銭
騰 落 率	+22.6%

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2022年3月1日から2023年2月27日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として、メキシコの債券等に投資しました。また、対円での為替ヘッジは行いませんでした。

上昇要因

- メキシコペソが対円で上昇したこと

投資環境について（2022年3月1日から2023年2月27日まで）

メキシコ債券市場は下落しました。為替市場ではメキシコペソは対円で上昇しました。

債券市場

メキシコの長期金利（10年国債利回り）は、インフレ率が上昇傾向で推移するなか、メキシコ銀行（中央銀行）が利上げを継続し、上昇しました。米国での継続的な利上げも、メキシコ金利の上昇要因となりました。

期初から高止まりするインフレをコントロールするための利上げが継続され、期初から金利に上昇圧力がかかりやすい状況となり、特に期中にメキシコ金利は上昇しました。償還日にかけては、主要国の景気減速が意識され、メキシコでもインフレ圧力が後退してきたことが好感されて、メキシコ金利の上昇に歯止めがかかりました。

金利は中銀の利上げの進捗を受けて短期ゾーンでの金利上昇幅が大きく、イールドカーブ（利回り曲線）は逆イールド化しました。

為替市場

メキシコペソ・円の相場は、期初と比較してメキシコペソ高・円安となりました。メキシコ銀行の利上げ継続がメキシコペソ高要因となりました。期の後半には日銀が長期金利の許容変動幅を拡大したことで、メキシコペソ安・円高となる場面もありましたが、メキシコ銀行の利上げ継続の影響が根強く、メキシコペソは対円で上昇しました。

ポートフォリオについて(2022年3月1日から2023年2月27日まで)

当ファンド

期初より、「メキシコ・ボンド・ファンド（アキュムレーションクラス）」を高位に組み入れることにより主としてメキシコの債券等に投資しました。また「マネー・オープン・マザーファンド」への投資を通じて安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ただし、償還前には現金化しております。

メキシコ・ボンド・ファンド(アキュムレーションクラス)

ポートフォリオのデュレーション(投資資金の平均回収期間：金利の変動による債券価格の感応度)は、期初から11月までは市場環

境に応じて短期化と中立化の間で調整しましたが、12月にはインフレ圧力の後退を勘案し長期化し、1月には再び中立化しました。

また、メキシコの国債と社債に投資しましたが、社債については流動性と収益追求の観点からクオリティの高い銘柄中心に保有し、1月には期初対比でやや組入れを減らしました。

マネー・オープン・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2022年3月1日から2023年2月27日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2022年3月1日から2023年2月27日まで)

償還のため、該当事項はございません。

2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

メキシコ債券ファンド（資産成長型）【愛称：ラ・バンバ】

1万口当たりの費用明細（2022年3月1日から2023年2月27日まで）

項 目	金額	比率	項目の概要
(a) 信 託 報 酬	123円	1.097%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 期中の平均基準価額は11,219円です。
（ 投 信 会 社 ）	(33)	(0.296)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(86)	(0.768)	販売会社：交付運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.033)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(-)	(-)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(-)	(-)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 公 社 債 ）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(d) そ の 他 費 用	1	0.006	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(-)	(-)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.004)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.002)	そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	124	1.103	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

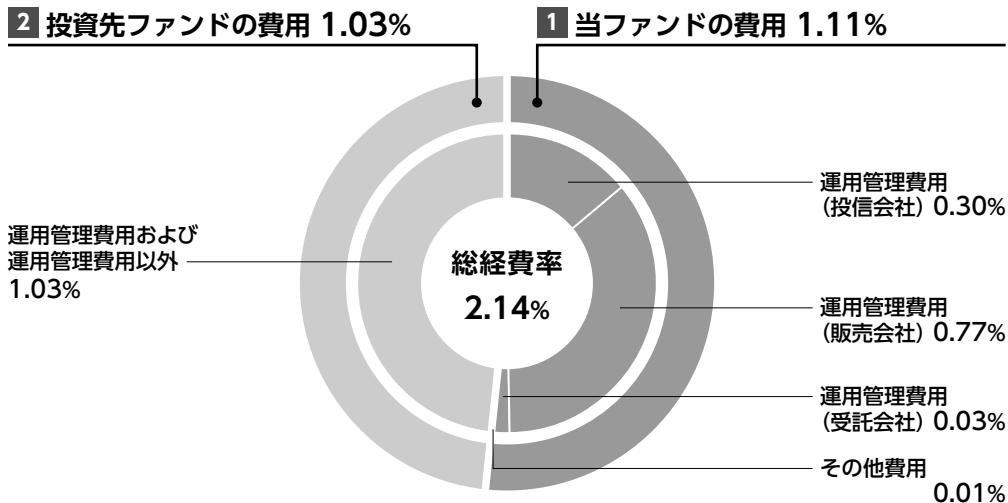
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1+2)	2.14%
1 当ファンドの費用の比率	1.11%
2 投資先ファンドの費用の比率	1.03%

※ **1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※ **2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※ **1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は2.14%です。

メキシコ債券ファンド（資産成長型）【愛称：ラ・バンバ】

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2022年3月1日から2023年2月27日まで)

(1) 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	メキシコ・ボンド・ファンド (アキュムレーションクラス)	口	千円	口	千円
		64,995,017	84,400	588,545,800	763,596

※金額は受渡し代金。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネー・オープン・マザーファンド	千口 -	千円 -	千口 4,997	千円 4,985

■ 利害関係人との取引状況等 (2022年3月1日から2023年2月27日まで)

利害関係人との取引状況

メキシコ債券ファンド（資産成長型）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

マネー・オープン・マザーファンド

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公 社 債	百万円 38	百万円 -	%	百万円 12	百万円 10	%
			-			79.9

※平均保有割合 9.8%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

メキシコ債券ファンド（資産成長型）【愛称：ラ・バンバ】

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年3月1日から2023年2月27日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細(2023年2月27日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	組 入 比 率
	口	口	千円	%
メキシコ・ボンド・ファンド (アキュムレーションクラス)	523,550,783	-	-	-
合 計	523,550,783	-	-	-

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(2) 親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
マネー・オープン・マザーファンド	4,997	-	-

■ 投資信託財産の構成

(2023年2月27日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	403,641	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	403,641	100.0

■ 資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2023年2月27日現在)

項 目	償 還 時
(A) 資 産	403,641,366円
コール・ローン等	403,641,366
(B) 負 債	2,621,130
未払解約金	1,043
未払信託報酬	2,616,750
未払利息	492
その他未払費用	2,845
(C) 純資産総額 (A - B)	401,020,236
元 本	337,565,533
償還差損益金	63,454,703
(D) 受益権総口数	337,565,533口
1万口当たり償還価額 (C/D)	11,879円77銭

※当期における期首元本額611,143,029円、期中追加設定元本額28,834,039円、期中一部解約元本額302,411,535円です。

※上記表中の償還差損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり償還価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2022年3月1日 至2023年2月27日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 12,482円
受 取 利 息	4,333
支 払 利 息	△ 16,815
(B) 有価証券売買損益	75,757,488
売 買 益	108,046,054
売 買 損	△ 32,288,566
(C) 信 託 報 酬 等	△ 5,831,989
(D) 当期損益金 (A + B + C)	69,913,017
(E) 前期繰越損益金	△ 3,004,816
(F) 追加信託差損益金	△ 3,453,498
(配 当 等 相 当 額)	(5,335,648)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 8,789,146)
(G) 合 計 (D + E + F)	63,454,703
償 還 差 損 益 金 (G)	63,454,703

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額をいいます。

メキシコ債券ファンド（資産成長型）【愛称：ラ・バンバ】

■ 投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年3月8日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年2月27日		資産総額	403,641,366円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	2,621,130円
受益権口数	5,384,219,465口	337,565,533口	△5,046,653,932口	純資産総額	401,020,236円
元本額	5,384,219,465円	337,565,533円	△5,046,653,932円	受益権口数	337,565,533口
				1万口当たり償還金	11,879円77銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	11,189,311,563	10,815,108,439	9,666	0	0.00
第2期	4,459,703,336	4,785,041,607	10,730	0	0.00
第3期	2,626,863,326	2,274,753,165	8,660	0	0.00
第4期	1,809,744,418	1,433,975,919	7,924	0	0.00
第5期	1,302,750,613	1,088,820,930	8,358	0	0.00
第6期	1,061,370,920	913,308,125	8,605	0	0.00
第7期	879,318,794	860,471,929	9,786	0	0.00
第8期	723,917,570	666,021,019	9,200	0	0.00
第9期	611,143,029	592,094,399	9,688	0	0.00

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	メキシコ・ボンド・ファンド（アキュムレーションクラス）
形態	ケイマン籍契約型投資信託（円建て）
主要投資対象	メキシコの債券等
運用の基本方針	主として、メキシコの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。メキシコペソ建て以外の債券等に投資する場合は、実質的にメキシコペソ建てとなるよう為替取引を行います。また、外貨建資産については、対円での為替ヘッジは行いません。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 投資信託証券への投資は純資産総額の5%以下とします。ただし、上場投資信託証券（ETF、REIT等）は除きます。 ・ 非流動性資産への投資は、取得時において純資産総額の15%以下とします。
決算日	原則として毎年10月31日
分配方針	毎年2月15日（休業日の場合は前営業日）に分配を行う方針。ただし、分配を行わないことがあります。
運用管理費用	<p>純資産総額に対して</p> <p>運用報酬 年0.57%程度</p> <p>管理費用等 年0.07%程度*</p> <p>*事務代行費用、名義書換代行費用および保管費用を含みます。</p> <p>※上記の各料率には、年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の各料率を上回ることがあります。</p>
その他の費用	<p>ファンドの取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
投資顧問会社	シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッド
副投資顧問会社	ブラックロック・メキシコ（BlackRock México Operadora, S. A. de C. V., Sociedad Operadora de Fondos de Inversión）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「メキシコ・ボンド・ファンド（アキュムレーションクラス）」をシェアクラスとして含む「メキシコ・ボンド・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

■ 包括利益計算書(2020年11月1日から2021年10月31日まで)

	(千円)
損益を通じて公正価値評価される金融資産による受取利息	108,636
損益を通じて公正価値評価される金融商品にかかる純利益	79,971
純為替差益	2,526
利益合計	191,133
管理報酬	(8,756)
事務代行、名義書換代理人および保管報酬	(1,196)
監査報酬	(3,952)
専門家報酬	(2,077)
雑費	(120)
受託報酬	(1,215)
財務諸表作成費用	(440)
営業費用合計	(17,756)
税引前および金融費用控除前営業利益	173,377
受益証券保有者への分配金	(213,658)
税引前損失	(40,281)
源泉徴収税	(966)
営業による受益証券保有者に帰属する純資産の変動額および当期包括利益合計	(41,247)

■ 組入上位銘柄(基準日：2021年10月29日)

	銘柄名	利率	償還日	組入比率
1	MEXICAN FEDERAL GOVERNMENT DEPELOPMENT BOND	8.500%	2029/5/31	11.0%
2	MEXICAN FEDERAL GOVERNMENT DEPELOPMENT BOND	5.750%	2026/3/5	10.9%
3	MEXICAN FEDERAL GOVERNMENT DEPELOPMENT BOND	8.500%	2038/11/18	9.8%
4	MEXICAN FEDERAL GOVERNMENT DEPELOPMENT BOND	7.750%	2031/5/29	9.2%
5	MEXICAN FEDERAL GOVERNMENT DEPELOPMENT BOND	10.000%	2024/12/5	9.0%
6	MEXICAN FEDERAL GOVERNMENT DEPELOPMENT BOND	7.500%	2027/6/3	7.0%
7	MEXICAN FEDERAL GOVERNMENT DEPELOPMENT BOND	8.000%	2024/9/5	7.0%
8	MEXICAN FEDERAL GOVERNMENT DEPELOPMENT BOND	8.000%	2047/11/7	6.9%
9	SCOTIABANK INVERLAT SA	7.300%	2023/6/16	6.5%
10	MEXICAN FEDERAL GOVERNMENT DEPELOPMENT BOND	7.750%	2042/11/13	6.0%
	全銘柄数		19銘柄	

※比率は純資産総額に対する割合

マネー・オープン・マザーファンド

第10期 (2021年3月2日から2022年3月1日まで)

信託期間	無期限 (設定日: 2012年7月27日)
運用方針	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		公社債 組入比率	純資産 総額
		期中 騰落率		
	円	%	%	百万円
6期 (2018年3月1日)	10,009	△0.1	72.4	75
7期 (2019年3月1日)	10,002	△0.1	72.4	75
8期 (2020年3月2日)	9,996	△0.1	74.9	75
9期 (2021年3月1日)	9,987	△0.1	75.9	72
10期 (2022年3月1日)	9,979	△0.1	76.9	61

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

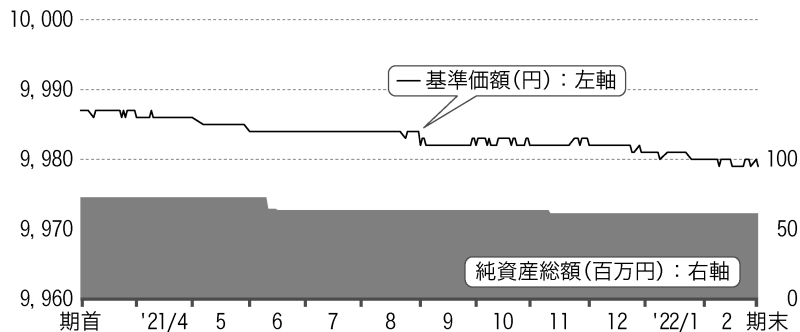
年月日	基準価額		公社債 組入比率
		騰落率	
(期首) 2021年3月1日	円	%	%
3月末	9,987	—	75.9
4月末	9,986	△0.0	75.9
5月末	9,986	△0.0	73.2
6月末	9,984	△0.0	70.5
7月末	9,984	△0.0	80.6
8月末	9,984	△0.0	80.6
9月末	9,982	△0.1	77.5
10月末	9,982	△0.1	77.5
11月末	9,982	△0.1	77.4
12月末	9,982	△0.1	80.2
2022年1月末	9,981	△0.1	77.0
2月末	9,980	△0.1	77.0
2022年3月1日	9,980	△0.1	76.9
(期末)			
2022年3月1日	9,979	△0.1	76.9

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について (2021年3月2日から2022年3月1日まで)

基準価額等の推移



期首	9,987円
期末	9,979円
騰落率	-0.1%

▶ 基準価額の変動要因 (2021年3月2日から2022年3月1日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

下落要因

・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

▶ 投資環境について (2021年3月2日から2022年3月1日まで)

短期金利は小幅上昇しました。

物価の上昇率が低水準にとどまったことや、新型コロナウイルスの感染拡大が繰り返されたことから、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を据え置き、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、発行額の増減などにより上下に振れる局面もありましたが、日銀が需給動向を勘案し、短期国債の買入れ額を調整したことから、期を通じて概ねレンジ推移となりました。

▶ ポートフォリオについて (2021年3月2日から2022年3月1日まで)

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3ヵ月までの円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

▶ ベンチマークとの差異について (2021年3月2日から2022年3月1日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

2%の物価安定目標の達成が展望出来ない中、日銀によるマイナス金利政策が継続され、短期国債利回りやコールローン（金融機関同士のごく短期の資金の貸借）翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナス圏での推移を想定します。

残存0年から1年3ヵ月までの公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細(2021年3月2日から2022年3月1日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.004% (0.004)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	0	0.004	

期中の平均基準価額は9,983円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2021年3月2日から2022年3月1日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	特殊債券	千円 47,419	千円 — (55,000)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※()内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

■ 利害関係人との取引状況等(2021年3月2日から2022年3月1日まで)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 47	百万円 12	% 25.5	百万円 —	百万円 —	% —

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、S M B C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
(2021年3月2日から2022年3月1日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2022年3月1日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除く金融債券)	47,000 (47,000)	47,153 (47,153)	76.9 (76.9)	— (—)	— (—)	— (—)	76.9 (76.9)
合 計	47,000 (47,000)	47,153 (47,153)	76.9 (76.9)	— (—)	— (—)	— (—)	76.9 (76.9)

※()内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

B 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄	期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
		%	千円	千円	
特 殊 債 券 (除く金融債券)	159 政保道路機構	0.9000	12,000	12,004	2022/03/18
	163 政保道路機構	0.9010	12,000	12,027	2022/05/31
	40政保地方公共団	0.8190	12,000	12,054	2022/09/16
	180 政保道路機構	0.7340	11,000	11,067	2022/12/28
	小 計	—	47,000	47,153	—
	合 計	—	47,000	47,153	—

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

■ 投資信託財産の構成

(2022年3月1日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 47,153	% 76.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	14,132	23.1
投 資 信 託 財 産 総 額	61,286	100.0

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年3月1日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	61,286,544円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	14,059,462
公 社 債 (評 価 額)	47,153,714
未 収 利 息	73,368
(B) 負 債	193
そ の 他 未 払 費 用	193
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	61,286,351
元 本	61,414,707
次 期 繰 越 損 益 金	△ 128,356
(D) 受 益 権 総 口 数	61,414,707口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	9,979円

※当期における期首元本額72,873,889円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額11,459,182円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

メキシコ債券ファンド(毎月分配型)	9,994,004円
メキシコ債券ファンド(資産成長型)	4,997,002円
日興エドモンド・ドゥ・ロスチャイルド・ラグジュアリーファンド	29,982,011円
SMB C・日興資産成長ナビゲーション	2,798,587円
ダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(為替ヘッジなし)	1,589,191円
ダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(限定為替ヘッジ)	269,851円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-09(為替ヘッジあり)	5,797,087円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-09(為替ヘッジなし)	409,781円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-12(為替ヘッジあり)	5,027,477円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-12(為替ヘッジなし)	549,716円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。

■ 損益の状況

(自2021年3月2日 至2022年3月1日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	477,409円
受 取 利 息	488,315
支 払 利 息	△ 10,906
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 527,036
売	△ 527,036
買	△ 527,036
(C) そ の 他 費 用 等	△ 2,569
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 52,196
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 94,955
(F) 解 約 差 損 益 金	18,795
(G) 合 計 (D + E + F)	△ 128,356
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	△ 128,356

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。